英文法 L01 第 8 講 自動詞と他動詞

学習目標

学習目標

- 目的語の有無に基づき、基本的な自動詞と他動詞の用法を判断できる。
- 動詞の直接目的語と、前置詞の後ろに置かれる名詞を区別できる。
- 同じ動詞でも文中の使い方によって自動詞・他動詞の用法が変わることを説明できる。
- 基本的な動詞について、目的語を直接続ける形と前置詞を使う形を正しく選択できる。

1. 自動詞と他動詞の基本

自動詞と他動詞の定義

英語の一般動詞には、**自動詞としての用法**と**他動詞としての用法**がある。

この違いを理解するには、まず「目的語」の意味を確認する必要がある。

目的語（O）とは、動詞が表す動作・状態などの対象を示す語句である。

例えば、次の英文を考える。

She eats an apple.

彼女はリンゴを 1 個食べる。

この文では、動詞 eats（食べる）の対象である an apple（リンゴ 1 個）が目的語である。

自動詞

自動詞は、動詞の直接目的語を取らずに使われる用法である。

She sleeps.

彼女は眠る。

この文では、sleeps（眠る）の後ろに直接目的語がない。

したがって、この文の sleeps は自動詞として使われている。

他動詞

他動詞は、動詞の直接目的語を取って使われる用法である。

She eats an apple.

彼女はリンゴを 1 個食べる。

この文では、eats の直接目的語として an apple が置かれている。

したがって、この文の eats は他動詞として使われている。

自動詞と他動詞の違いは、単に動詞の後ろに単語があるかどうかではなく、**動詞が直接目的語を取っているかどうか**にある。

©ミライコーチング

2. 英文の構造から違いを理解する

自動詞と他動詞の構造

次の 2 つの文を比較する。

- She eats an apple.（彼女はリンゴを 1 個食べる。）
- She sleeps.（彼女は眠る。）

両方とも主語 She の後ろに一般動詞が置かれているが、目的語の有無が異なる。



図 1　左はリンゴを食べる場面、右は眠る場面

構文の比較

英文	S（主語）	V（動詞）	O（目的語）	この文での用法
She eats an apple.	She	eats	an apple	他動詞
She sleeps.	She	sleeps	なし	自動詞

S は主語、V は動詞、O は目的語を表す。

1 つ目の文は SVO、2 つ目の文は SV の形である。

ここで重要なのは、動詞の意味だけを見て判断しないことである。

例えば、「食べる」という意味の eat は、何を食べるかを表さない文でも使える。

She eats at noon.

彼女は正午に食事をする。

この文では、eats の後ろに直接目的語が置かれていない。at noon（正午に）は時を表す前置詞句であり、動詞の直接目的語ではない。

つまり、eat は目的語を取る使い方と、目的語を取らない使い方の両方ができる。

また、図の女性が何をしているかという見た目だけから、その動詞のすべての用法を自動詞・他動詞のどちらかに決めることはできない。

判断するのは、あくまでその英文における動詞と目的語の関係である。

©ミライコーチング

目的語を見つける基本手順

自動詞と他動詞は、次の順序で判断する。

1. 文の主語（S）と動詞（V）を見つける。
2. 動詞が表す動作・状態などの対象を探す。
3. その対象を動詞が直接目的語として取っているか確認する。

例えば、次の文では、

Tom opens the door.

トムはそのドアを開ける。

opens の対象は the door（そのドア）であり、動詞が直接目的語として取っている。

この opens は他動詞として使われている。

ただし、動詞の後ろに前置詞なしで語句が続けば、必ず目的語になるわけではない。第 3 講で学んだ補語（C）などと区別し、語句の働きまで確かめる必要がある。

3. 前置詞がある場合の考え方

直接目的語と前置詞の目的語

前置詞とは、名詞などの前に置かれ、場所・方向・対象などの関係を表す語である。

基本的な前置詞には、at、to、for、in などがある。

次の英文を比較する。

前置詞を使わない形

She hears music.

彼女には音楽が聞こえる。

この文では、hears の直接目的語は music（音楽）である。

前置詞を使う形

She listens to music.

彼女は音楽を聴く。

この文では、listens の後ろに to music が続いている。

to は前置詞であり、music は前置詞 to の目的語である。

したがって、music は listens の直接目的語ではない。

英文	動詞（V）	動詞の直接目的語（O）	前置詞句
She hears music.	hears	music	なし
She listens to music.	listens	なし	to music

ここで、to music は前置詞と名詞をまとめた**前置詞句**である。

この基本的な使い方では、hear は「聞こえる」、listen to は「意識して耳を傾ける」という意味の違いもある。

前置詞の後ろに名詞がある場合、その名詞を動詞の直接目的語と混同しないことが重要である。

©ミライコーチング

動詞によって異なる語のつながり方

英語では、同じような日本語訳になる動詞でも、後ろの名詞とのつながり方が異なることがある。

次の 2 文を比較する。

We arrive at the station.

私たちはその駅に到着する。

We reach the station.

私たちはその駅に到着する。

どちらも駅に到着することを表す自然な英文である。

ただし、文の構造は異なる。

動詞	基本的なつながり方	構文上の特徴
arrive	arrive at + 場所	場所は前置詞 at の目的語
reach	reach + 場所	場所は動詞 reach の直接目的語
listen	listen to + 対象	対象は前置詞 to の目的語
hear	hear + 対象	対象は動詞 hear の直接目的語

このような語のつながり方は、基本的な語法として覚える必要がある。

日本語の「〜に」「〜を」だけで英語の前置詞の必要性が決まるわけではない。

4. 判断するときの注意点

自動詞・他動詞を固定して考えない

注意 1：自動詞の後ろにも語句が続く

自動詞は「後ろに何も続けられない動詞」という意味ではない。

She sleeps on the sofa.

彼女はソファで眠る。

この文の sleeps は直接目的語を取っていない。

on the sofa（ソファで）は場所を表す前置詞句である。

したがって、後ろに語句が続いていても、sleeps は自動詞として使われている。

注意 2：目的語を省略できる動詞もある

次の 2 文を比較する。

I read books.

私は本を読む。

I read every night.

私は毎晩読書をする。

1 つ目では books（本）が read の直接目的語である。

2 つ目では目的語を表さず、読書をするという行為そのものを述べている。

どちらも自然な英文である。

eat についても同様に、目的語を表す場合と表さない場合がある。

そのため、**read や eat の後ろに目的語がないという理由だけで、その英文を誤りにしてはいけない。**

注意 3：前置詞があるだけで自動詞とは判断しない

She writes a letter to her father.

彼女は父親に手紙を書く。

この文では、a letter（手紙）が writes の直接目的語である。

一方、to her father（父親に）は相手を表す前置詞句である。

前置詞句があっても、動詞は直接目的語を取ることができる。

動詞の後ろに前置詞があるかどうかだけでなく、何が直接目的語になっているかを確認する必要がある。

注意 4：別の前置詞が使える場合もある

例えば、次の表現はどちらも自然である。

- stay at a hotel（ホテルに滞在する）
- stay in a hotel（ホテルに滞在する）

基本的な語法を覚えることは重要だが、前置詞が常に 1 つしか使えないと考えてはいけない。

設問では、文全体の意味と構造に合うかどうかで判断する。

5. 例題

以下の例題と演習では、すべて習慣を表す現在形の肯定文を扱う。主語に応じた動詞の形にも注意し、指定された状況に最も適切な英文を完成させる語句を 1 つ選べ。

1

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「窓を開ける場面」

Keiko (　　) the window before breakfast every morning.

- A. opens to
- B. opens for
- C. opens
- D. opens at

解答・解説

正解
C. opens

完成文と和訳
Keiko opens the window before breakfast every morning.

ケイコは毎朝、朝食前に窓を開ける。

判断の決め手
動詞 open（開ける）は、この文では開ける対象を直接目的語として取っている。

the window（その窓）が opens の直接目的語である。

したがって、opens the window という形が適切である。

各選択肢の検討

- **A. opens to：誤り**。 opens to の後ろに the window を続けると、ケイコが窓を開けるという目的の形にならない。ここでは opens が the window を直接目的語に取る。
- **B. opens for：誤り**。 for を入れると、the window が opens の直接目的語ではなくなる。ここで必要なのは窓を開けるという直接的な動作である。
- **C. opens：正しい**。 opens の後ろに the window が直接続き、「窓を開ける」という意味になる。
- **D. opens at：誤り**。 at the window は場所を表すことがあるが、この文では窓そのものが開ける対象である。at は必要ない。

2

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「駅を到着地点とする場面」

On weekdays, Hana (　　) the station before eight.

- A. arrives at
- B. arrives
- C. arrives to
- D. arrives for

解答・解説

正解
A. arrives at

完成文と和訳
On weekdays, Hana arrives at the station before eight.

ハナは平日、8 時前にその駅に到着する。

判断の決め手
arrive（到着する）は、この基本的な用法では場所を直接目的語として取らない。

駅などの地点を表す場合には、arrive at + 場所 の形を用いる。

したがって、arrives at the station が適切である。

各選択肢の検討

- **A. arrives at：正しい**。 arrive at the station は「その駅に到着する」という意味になり、場所を at で示している。
- **B. arrives：誤り**。 arrive の後ろに the station を直接続ける形は、この意味での基本的な語法に合わない。
- **C. arrives to：誤り**。 この文の「駅に到着する」は arrive at the station と表す。to the station を続ける形は適切ではない。
- **D. arrives for：誤り**。 for は、この文で到着地点を表すための前置詞として適切ではない。

なお、reach を使うなら reach the station（その駅に到着する）と表せる。reach はこの意味では場所を直接目的語として取る。

6. 演習問題

次の各問について、指定された状況に合うように空所に入る語句を A〜D から 1 つ選べ。

英文はすべて習慣を表す現在形の肯定文とする。

1

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「車を洗う場面」

My uncle (　　) the car every Sunday morning.

- A. washes at
- B. washes for
- C. washes with
- D. washes

2

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「先生の説明に耳を傾ける場面」

Our friends (　　) the teacher carefully during class.

- A. listen
- B. listen to
- C. listen at
- D. listen for

3

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「手紙を書く場面」

I (　　) a short letter to my grandmother every month.

- A. write
- B. write to
- C. write for
- D. write at

©ミライコーチング

4

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「公園を目的地とする移動」

We (　　) the park after school each Friday.

- A. walk at
- B. walk for
- C. walk to
- D. walk with

5

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「ケーキを作る場面」

My mother (　　) a birthday cake for us every year.

- A. makes at
- B. makes
- C. makes to
- D. makes for

6

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「バスの到着を待つ場面」

I (　　) the bus at this stop every morning.

- A. wait to
- B. wait at
- C. wait
- D. wait for

7

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「宿題を終える場面」

We (　　) our homework after dinner every night.

- A. finish
- B. finish at
- C. finish for
- D. finish to

©ミライコーチング

8

空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

「ホテルに滞在する場面」

My family (　　) a hotel near the beach every summer.

- A. stays
- B. stays for
- C. stays at
- D. stays to

7. 演習問題の解答・解説

1

正解
D. washes

完成文と和訳
My uncle washes the car every Sunday morning.

私の叔父は毎週日曜日の朝、その車を洗う。

判断の決め手
wash（洗う）は、この文では洗う対象を直接目的語として取る。

the car（その車）が washes の直接目的語なので、前置詞を挟まずに続ける。

各選択肢の検討
- **A. washes at：誤り**。 at the car は車の付近という場所を示す解釈になり、車そのものを洗うという意味に合わない。
- **B. washes for：誤り**。 for the car では洗う動作の直接的な対象を表せない。
- **C. washes with：誤り**。 with は道具などを示すことがあるが、ここでは車は洗うための道具ではなく、洗われる対象である。
- **D. washes：正しい**。 washes the car で「その車を洗う」という意味になる。

2

正解
B. listen to

完成文と和訳
Our friends listen to the teacher carefully during class.

私たちの友人たちは授業中、先生の話を注意して聴く。

判断の決め手
listen（耳を傾ける）は、この基本的な用法では聴く対象を to で示す。

listen to the teacher で「先生の話を聴く」という意味になる。

the teacher は前置詞 to の目的語であり、listen の直接目的語ではない。

各選択肢の検討
- **A. listen：誤り**。 listen の後ろに the teacher を直接続ける形は、この意味では使わない。
- **B. listen to：正しい**。 listen to the teacher で、先生の話に意識して耳を傾ける意味になる。

- **C. listen at：誤り。** listen at the teacher は、先生の話を注意して聴くという意味を表す通常の形ではない。
- **D. listen for：誤り。** listen for は「聞こえてくるのを待つ・聞き取ろうとする」という意味で使われることがある。しかし、この設問では授業中に先生の話を聴くことを表しているため、listen to が適切である。

3

正解
A. write

完成文と和訳
I write a short letter to my grandmother every month.

私は毎月、祖母に短い手紙を書く。

判断の決め手
write（書く）は、この文では書く対象を直接目的語として取る。

a short letter（短い手紙）が直接目的語である。

一方、to my grandmother（祖母に）は手紙の相手を示す前置詞句である。

したがって、write a short letter to my grandmother という形が適切である。

各選択肢の検討
- **A. write：正しい。** write の直後に a short letter が続き、何を書くかを直接目的語で示している。
- **B. write to：誤り。** write to my grandmother（祖母に手紙を書く）という表現自体は自然である。しかし、ここでは空所の直後に a short letter があるため、write to a short letter とはしない。
- **C. write for：誤り。** for a short letter では、短い手紙を直接書く対象として示す形にならない。
- **D. write at：誤り。** at a short letter は、この文で書く対象を示す適切な形ではない。

4

正解
C. walk to

完成文と和訳
We walk to the park after school each Friday.

私たちは毎週金曜日、放課後に歩いて公園へ行く。

判断の決め手
この文の walk（歩く）は、歩くという動作を表し、到着先の方向を to で示している。

walk to the park で「公園まで歩いて行く」という意味になる。

the park は前置詞 to の目的語であり、walk の直接目的語ではない。

各選択肢の検討
- **A. walk at：誤り。** walk at the park は「公園で歩く」という場所の解釈が可能だが、設問の「歩いて公園へ行く」という移動先を表していない。
- **B. walk for：誤り。** for the park は、この文で公園への移動先を示す表現として適切ではない。
- **C. walk to：正しい。** to が移動先を示し、公園へ歩いて向かう意味になる。
- **D. walk with：誤り。** with は一緒に行動する相手などを示すことがあるが、the park は同行する相手ではない。

5

正解
B. makes

完成文と和訳
My mother makes a birthday cake for us every year.

私の母は毎年、私たちのために誕生日ケーキを作る。

判断の決め手
make（作る）は、この文では作る対象を直接目的語として取る。

a birthday cake（誕生日ケーキ）が makes の直接目的語である。

for us（私たちのために）は、作る相手・受益者を示す前置詞句である。

各選択肢の検討
- **A. makes at：誤り。** at a birthday cake では、誕生日ケーキを作るという対象関係を適切に表せない。
- **B. makes：正しい。** makes a birthday cake で「誕生日ケーキを作る」という意味になる。
- **C. makes to：誤り。** to a birthday cake では、この文で作る対象を表すことができない。
- **D. makes for：誤り。** make for には「〜へ向かう」などの別の用法があるが、ここではケーキを作る意味であり、a birthday cake を直接目的語に取る必要がある。

6

正解
D. wait for

完成文と和訳
I wait for the bus at this stop every morning.

私は毎朝、この停留所でバスが来るのを待つ。

判断の決め手
wait（待つ）は、この基本的な用法では待つ対象を for で示す。

wait for the bus で「バスを待つ」という意味になる。

the bus は前置詞 for の目的語であり、wait の直接目的語ではない。

各選択肢の検討
- **A. wait to：誤り。** wait to の後ろには動詞の原形が続く用法があるが、この文の the bus は名詞句である。バスを待つ意味には wait for を用いる。
- **B. wait at：誤り。** at は場所を示すことができるが、wait at the bus は「バスが来るのを待つ」という意味にはならない。すでにあるバスのそばで待つような別の状況とは区別する。
- **C. wait：誤り。** 現代の一般的な英語で、バスが来るのを待つことは wait the bus とは表さない。
- **D. wait for：正しい。** for が待つ対象を示し、「バスが来るのを待つ」という意味になる。

なお、at this stop（この停留所で）は場所を表す前置詞句である。文中には for と at があるが、どちらも動詞の直接目的語を作っているわけではない。

7

正解
A. finish

完成文と和訳
We finish our homework after dinner every night.

私たちは毎晩、夕食後に宿題を終える。

判断の決め手
finish（終える）は、この文では終える対象を直接目的語として取る。

our homework（私たちの宿題）が直接目的語である。

したがって、finish our homework という形が適切である。

各選択肢の検討
- **A. finish：正しい**。 finish の直後に our homework が続き、「宿題を終える」という意味になる。
- **B. finish at：誤り**。 at our homework では、宿題を終えるという直接的な対象関係を示せない。
- **C. finish for：誤り**。 for our homework は、この文で宿題を終える対象として示す形ではない。
- **D. finish to：誤り**。 finish to our homework という形では、この文の意味を自然に表せない。

8

正解
C. stays at

完成文と和訳
My family stays at a hotel near the beach every summer.

私の家族は毎年夏に、海辺の近くのホテルに滞在する。

判断の決め手
stay（滞在する）は、この基本的な用法では滞在先を前置詞で示す。

stay at a hotel で「ホテルに滞在する」という意味になる。

a hotel は前置詞 at の目的語であり、stays の直接目的語ではない。

各選択肢の検討
- **A. stays：誤り**。 stay の後ろに a hotel を直接続けて滞在先を示すことは、この意味の基本的な語法ではできない。
- **B. stays for：誤り**。 stay for は滞在の期間などを示す用法があるが、この文では a hotel が滞在先なので適切ではない。
- **C. stays at：正しい**。 at a hotel が滞在先を示し、「ホテルに滞在する」という意味になる。
- **D. stays to：誤り**。 stays to a hotel は、この文でホテルを滞在先として示す適切な形ではない。

なお、stay in a hotel（ホテルに滞在する）も自然な表現である。したがって、滞在先を表す前置詞が必ず at だけになるわけではない。この設問では選択肢の中で C が適切である。